



第26号 (年1回発行)

発行所

〒160-8402 新宿区新宿6-1-1

東京医大看護専門学校

同窓会

03-3351-6141(内310)

東京医科大学看護専門学校

同窓会郵便振替

口座番号 00120 118268

理事就任挨拶

―長年の夢の実現に向けて―

東京医科大学八王子医療センター

副センター長・看護部長 小野寺三喜子



同窓生の皆様こんにちは。前回私がこの同窓会誌に載ったのはいつかも忘れられない御無沙汰してしまいました。

平成16年に東京医科大学八王子医療センターの看護部長となり、22年7月から

は法人理事に選出されました。

看護師代表が理事になることが可能になった経緯には平成17年私立大学の法律ともいわれる私学学校法の改正が基になっています。その中で理事は評議員の中から互選で選出されることになり、前執行部の数十回に及ぶ「寄付行為改正委員会」の検討結果が今回の改正になりました。

一般職員の中から評議員として理事が選出されるこ

とを知った

ときは驚き

と同時にこ

れでやつと

患者や職員

の声を大学

(病院) 運営

に反映できるという喜びが

ありました。その重責を私

が担うことになりましたが

全力でこの職責を果たそう

と考えております。

理事としての私の担当業

務の中で、今最も力を入れ

なければならぬのは看護

学科設立にむけての基盤作

りをすることです。幸いに

本学の理事長をはじめとし

て、看護基礎教育の大学化

は必須であるという認識で

一致しています。しかしそ

のためには解決しなければ

ならない課題が多くあるこ

とも確かです。同窓生の長

年の夢である大学化に向け

てそのスタートを切りまし

た。今こそ皆様のご支援を

賜りますようお願い申し

上げます。

私が大病院で働き続け

た理由は「教育は将来の財

産である」という恩師の言

葉からです。今東京医大に求められていることは、まさしく「将来を創る」このことを再認識し良き医療人を育てることに尽きると考えています。

任挨拶には「変革は楽しいことである。このことを皆さんと実感したい」と書かせていただきました。「変革」「楽しく仕事をすること」は私の重要なキーワードになっています。

おりしも今日、節目の年になる誕生日を記念してという事で師長・主任・指導係りの皆さんからメッセージアルバムをお祝いに頂きました。

そのメッセージに共通していたのは「笑顔・ポジティブ志向」でした。数十年前の私しか知らない同窓生の方々はこの言葉から今の私を想像してください。

通勤途中にある公園の石楠花はすでに来年の花芽を膨らませています。厳しい寒さに耐えてこそあの美しさがあるのでしょうか。

平成23年は東京医大にも美しい花が咲きますようにお祈り申し上げます。

新師長承認に あたつて

星野 恵 (看22)



22回生の皆様、同窓生の皆様お元気ですか?この度、4月1日付けで師長に就任しその重責に身の引き締まる思いを感じています。これまでご指導を頂きました、諸先輩方ならびに一緒に頑張つて私を支えてくださったスタッフの皆様、厚く御礼申し上げます。

私は昭和63年に看護専門学校を卒業し、東京医科大学病院の手術部に就職しま

した。途中2年間ほど15西病棟勤務をしていましたが、ほとんどの看護師人生を手術室で歩んできました。今現在、昭和63年就職の同期生が私を含め8名残つていて、嬉しさあり頼もしくもあり日々東京医大と一緒に奮闘しています。

今回、看護師長となり12階東病棟勤務となりましたが、毎日が初めての連続で驚きと感動、反省を繰り返しているのが現状です。スタッフ・患者さん・医師に支えられながら何とか頑張つておりますが、スタッフの一生懸命な姿には本当にいつも頭が下がります。

これからも日々勉強の気持を忘れず、東京医大を盛り上げていくためにも頑張るつもりでおりますのでご支援、ご協力をよろしくお願ひいたします。(写真は同期で一緒に師長に就任した佐藤(旧姓宇山)さんです。(10東))

主任昇任に あたり

安部由利子 (看25)



私は、現在16東病棟の主任看護師として働いています。当病棟は消化器外科・内科、形成外科です。外科がメインの病棟は初めてなので、学ぶことも多く日々スタッフに助けられています。

これまで幾つかの病棟を経験してきましたが、どの病棟においても、基本的な看護に変わりはないことを実感します。

思えば私が看護師をここまで続けられたのは、様々な患者さんとの出会いがあったからだと考えます。特に慢性期の病棟では、再入院を繰り返す、前向きに治療を受けている人達から生きる強さと勇気をもらいました。「辞めちゃ駄目」「知っている人がいると安心する」という言葉をかけられ、自分自身も必要とされているという使命感があり、仕事ハードでも充実感を感じました。今は直接患者さんを受け持つことは少なくなりましたが、相手の気持ちに沿う看護を心がけています。

看護師になり早19年目、こんなにも長くこの病院に勤務するとは自分が一番信じられないのですが、あつという間の年月でした。振り返ると不思議と辛かった事はほとんどなく、印象に残る患者さんや共に過ごした同僚の事ばかりが思い出されます。主任としてはま

主任昇任に あたり

柴田英里子 (看29)



29回生の皆さん、お久しぶりです。

病院内で働く同級生の数は年々減り、今では6〜7人程になってしまいました。

時々、廊下などで同級生の顔を見つけると、心が和みます。みんながんばっているから、自分もがんばらなくてはと、良い刺激を受けながらここまでできた気がします。

東京医科大学病院に就職して丸12年11階西病棟に勤務していましたが、平成19年より13階西病棟へ移り、平成22年の4月から主任として働いています。

主任として1年が過ぎましたが、自分が主任として何ができるのか何をすべきか、模索、手探りの状態です。毎日、病棟の山下師長をはじめスタッフに支えられ働いています。

主任となって、委員会の仕事に初めて関わり、今までスタッフでいた時には想像もつかなかった、数々の準備の苦労や思いを少しずつではありますが学び取り組んでいるところです。今いろいろな仕事で先輩方から学ばせていただくこ

とが多く、教えていただけるとのありがたさを実感しています。

まだまだ頼りない主任であります。病棟のスタッフが長く働き続けることのできる環境をコーディネートできるような頑張っていきたいと思えます。これからもよろしく願います。

主任昇進にあたり

反町和正 (看33)

同窓生の皆様、ご無沙汰しています。今回「主任昇進にあたり」というテーマで同窓会便りの原稿依頼のお話をいただきました。どのような文章を書けばよいのか迷いましたが、私の心境の変化や近況について書かせていただこうと思えます。

平成22年4月をもちまして主任という役割を賜ることになりました。以前は学生・新人指導について自らの未熟さを感じ、自信を持つ

て指導にあたれないこともありました。そんな中、昨年参加した実習指導者研修で様々な学びと出会いがありました。研修に参加したことでもそれまでの自信のなさが前向きに変換されていくのを実感しました。研修を終えて実践で自らの行動

がどう変化したのは定かではありませんが、教育に対する意識は確実に変わりました。それが言動に表れるように努力をしているところです。そして主任という役割を頂くこととなり、どのような役割モデルを示したらよいのか、主任として何をすべきか熟考しました。結果、研修での学びの再統合や現任教育に關しての学習、たくさんの師長・主任からご指導いただき、スタッフに支えられながらなんとか主任として働いています。「主任さん」と声を掛けられているのに気づかないこともありますが、これからも自覚と目標を持って役割を

務めていきたいと思えます。今後とも同窓生の皆様におかれましてはご指導ご鞭撻のほど、よろしく願っています。

主任就任異動にあたり

近藤英二



借り、自分自身も新たな学びの中、充実した日々を送っています。

医療に対する厳しい目、また経済的な問題等を背景に医療を取り巻く環境は変化しています。これに合わせて、看護師の果たす役割・機能の拡大が顕著になり、その真価が問われる時代になりました。そのため看護師は療養生活の専門化として、的確な看護判断と適切な看護技術を提供することが求められているものと考えます。

同窓会の皆さんこんにちは。この度、この4月から看護専門学校で教員から臨床へ移動となりました。他の医療機関での経験はあるとはいえ、教員として学生を相手にしているときは異なり、プランクもあり心新たに1からのスタートで日々取り組んでいます。まだまだ不慣れで戸惑うことも多く、悪戦苦闘していますが、病棟スタッフの力を

臨床での自分自身の立場として、こうした求められているニーズを病棟スタッフに意識付けし、知識・技術をそれぞれが構築できるような働きかけることだと思っています。言葉で言うことは簡単ですが、難しいと感じています。しかし、踏み出さなければ何も変わりません。一歩踏み出し、道が開けて行けたらと思っています。

看護教員

1年生です

堀 香純



私は、看護教員養成課程の研修生だった昨年こちらに教員実習でお世話になったことがきっかけで人職し、早4カ月が過ぎました。教員1年目の私にとってこの4カ月は授業に校内演習実習ととにかく毎日が必死の日々でした。そんな中で、教育実習生として接した看護学生達が進級して成長している様子、看護師1年目として頑張っている姿に励まされました。また、卒業生達が周りの先生達を訪ね来る姿を見て、学生の成長が教員にとっての喜びののかなあと感じました。

私も将来、自分が関わっ

た卒業生達の姿に喜びを感じお互いにパワーを与えあうことができるように、学生達と一緒に教員として成長していきたいです。

なつかしの先生

天野 雅美

東医同窓会の皆さま、ご



戴帽式を

終えて

高野 千裕 (看46)



ナースキャップというのは看護師の象徴であり、私

無沙汰しております。皆様におかれましては、公私ともに充実した日々を過ごされていること願ってやみません。残念ながら、東医の卒業生ではありませんが、平成元年から平成6年までを11階東病棟で、平成18年までを看護専門学校で勤務させて、いただきました。仕事を持つことのできる人生の半分を東医で過ごすことができたのも、皆さまにささえられてきたからと感謝しております。

11階東病棟元勤務者で毎年行われる「イレヴン会」では、土居元師長さんや柴田元師長さんをはじめとして、10人以上のメンバーが顔を揃えます。幾つになっても当時のままの年齢と錯覚をおこしてしまいます。

担任だった38回生をはじめとして、卒業生の結婚式にも声をかけて頂き、更に飛躍した姿を眩しく受け止める機会も何度かあります。子の成長を見守る親の心境と一致してしまいます。

じ、使命感にあふれました。気持ちの面では看護師に近づけたのではないかと思えます。これから先、また自信をなくしたり迷いそうになった時は戴帽式を迎えた日の私を思い出し、一歩一歩成長していけたらと思います。戴帽式は、看護師になりたいと思う気持ちを更に強くさせてくれました。これから実習でたくさん学んで、頑張っていこうと思えます。

たち看護学生にとって憧れのものでした。戴帽式を迎えるにあたっては嬉しさの反面、本当に今の自分がナースキャップを頂いてもいいのだろうかという不安な気持ちがありました。知識も技術もまだまだ未熟で、これから病院実習が始まるというのに自信を持てずいたからです。ですが、ナース服を身にまとい、ナースキャップをつけた自分はパワーアップしたように感じます。

東医を退職後、埼玉医科大学保健医療学部看護学科へ移り、現在は、蒲田にある東京工科大学医療保健学部看護学科で勤務し、看護教員の仕事を継続しています。何処に行っても、若い人たちの前向きな姿勢と豊かな感性、人を思いやる気持ちに刺激を頂き、若返り療法を受けているようです。

東京医科大学病院および看護専門学校の今後の益々のご発展と同窓会の皆様方のご健康を祈念しております。

看護師という仕事を今振り返って

前嶋知恵美 (別名)

(旧姓：志和山)



現代社会において恒常的

に看護師不足が続いている中、私達看護師一人一人が患者に対し質の高い看護を提供するためには、自らが心身共に健全でなくてはなりません。

しかし、残念ながら、日進月歩する医療業務に対する不安やストレス、医師等他の医療従事者や患者・家族との人間関係の悩み、夜勤・超過勤務が多く年休取得もままならない現実等、殆どの医療現場でこれを阻害する問題があると言われている。

私自身、これまでいくつかの職場を経験し、現在も化学療法室で働いています。が、これらの指摘は程度の差はあれ概ね理解できます。

私は還暦を迎え、気分的に多少の余裕ができたので、最近では茶道や陶器に興味を持ち、たまの休日には仕事から完全に離れて夫と遠出をして気分をリフレッシュしています。まさに六十の手習いです。

最近の自分は一ヶ月先の就業すら保証できない心境ですが、看護師として勤めるからには学校卒業時の初心を忘れず、患者本位の看護に努めていきたいと思っております。

相変わらず、小中高生を通じ女の子が将来なりたい職業の上位には常に看護師が挙げられています。

今後、理想と現実のギャップが少しでも縮まるよう、看護師を取り巻く環境の様々な改善が行われ、社会が真に求める看護師が本学から多く巣立っていくことを期待しています。

思い出 そして夢へ

布施照美 (別4)
(旧姓・本田)



同窓生の皆さんお元気ですか。あらためて考えてみると卒業後35年が過ぎました。

この間、子育て時期の8、9年間仕事から離れていましたが、この子育て時期も楽しく大切な時期を過ごすことが出来たと振り返っています。

数か所の病院勤務を経験し、次々と変わる医療、看護の現場で迷うことも悩むことも数多くありました。しかし周りの多くの人に助けられ、振り返ってみますととても楽しい思い出ばかりだったように感じます。

今はそろそろ迎える定年退職のことを考えています。まずは元気で旅行することです。夢は3カ月かけて故郷の北海道を廻ること。夫の好きなシルクロードやシベリア鉄道、などを一緒に旅することです。このためには体力造りが一番と思いウォーキングを始めました。

休日は日中1時間以上、仕事の日は寝る前30分程度歩こうと思いついています。(実行できないことも多々あります)

自宅から近い手賀沼周辺や、旧武謝小路実篤邸がある近くの森を歩いていきます。この森には10種類程度の野鳥がおり、その囀りに心癒され、数々の草木が手を加えない自然な状態に

私の近況

清水晴美 (進9)
(旧姓・小田嶋)



同窓生の皆様、そして進9回生の皆様お元気です

なっており、森林浴を楽しみながら良い汗を流しています。

手賀沼を1周すると4時間、半周でも2時間はかかりますので半周を1年に数回ですが四季折々の風景を楽しみながら歩いています。健康で人生が楽しめるよう頑張っています。皆様もお元気で活躍されますようお祈りいたします。

か。東医大では、整形外科病棟と手術室の勤務を経験し、たくさんのお話を聞かせていただきました。その経験と御指導があったから、今の私があります。新潟の地元で働いてもう20年になります。同窓会便りを楽しみに読んでいたのに、今度は、お便りを書く方になってしまいました。

同窓会・同級会の御案内が届いても、地方で勤務していることや、家庭の事情などを優先してなかなか参加出来ずいました。今は子供も大きくなり手

がからないけど就職が出来ないなどの社会情勢に、気持ちが悪くありません。でも、考えて悩んでいても変わらないので、時代と社会の流れと本人の運にまかせて見守っています。そんな私も、平成20年の杉浦亮子先生の叙勲を祝う会に出席したのを機会に、何十年ぶりの同級生達に会いまし

た。東医大の当時は思い出し夜遅くまで、懐かしい話に花が咲いて、毎年同級会を行う事になりました。写真、昨年軽井沢を堪能した時のものです。軽井沢では、各自ショットピングも楽しみました。お互いに年令を重ねている為、話題も豊富、知識も豊富で言葉に重みと深みと真実味が入り混っていて地方でのんびりとしていた私には、新鮮であり強烈な刺激で楽しんで

います。同級生の皆様、ぜひ次回の同級会には一緒に楽しみましょう。参加をお待ちしております。最後に、東医大病院との

御縁をいただいた事に感謝しつつ、看護師として定年まで働き続けたいと思っていたので、大きな病気にもかかわらず、現在も働いていられる事にも、感謝しています。

そして東医大病院・看護専門学校での進歩と発展に御尽力されている方々に、感謝と敬意を表します。皆様には、激励と希望と誇りを「同窓会便り」を通じていただいております。

皆様の御健康を祈りつつ、私の近況とさせていただけます。ありがとうございます。ありがとうございました。

新潟で がんばっています

松井 栄子 (進10)

(旧姓：早川)

進学科10回生のみなさんお元気ですか。地下教室を卒業して、早20数年が過ぎてしまいました。という事は、私達も確実に年を重ねて来ているという事になりますね。

私自身、卒業後は新潟にもどり県立病院で三交代で看護に携わりながら、一男一女を育て、又近年では介護もしつつの生活です。子供達もそれぞれの道を進み始め、自分が新宿で学んだり

遊んだりの年に達したためか、親として「これで大丈夫？」と考えさせられます。

10回生は学業は今一つだった様ですが、団結力(?)があるのか、2年毎に同級会を開催したり、新潟の地震の際には被災者へのお見舞いにも心よく協力してくれたりします。昨秋には秋田出身の石川さんの声か

けで、秋田での同級会も行いました。しばしの再会でしたが皆、20年前にタイムスリップしたように、学生の頃の顔にもどり友達の大切さを感じました。

皆様はもう御承知と思いますが、我担任の平田先生が、昨年の4月から新潟に引越され、看護学校での現役学生指導をやられてます。新しい所での生活、仕事は大変な様でしたが、それは又元気の源として活躍されています。ぜひ新潟に来て先生の元気をもらいませんか。次の同級会には又皆様の顔が見られる事を楽しみに仕事に家事に介護にがんばります。

定年まで あと5年!?

齋藤かず子 (看11)

(旧姓：川口)

地域医療に力を入れてくれる150床程の中規模な個人病院に勤めています。



え不足しているナースが退職して行きます。全国的な新人不足もさることながら、離職問題も一層根深くなっている昨今です。自分もあと何年と、数え続けて来ましたが、最近特に思う様になったのは、自分が居なくなる前にきちんと次のリーダーを育てたか?と言うことです。もう、とくにその時期なのに、今あわてて取り組んでいる次第なので、せっかく取得した免許ですし、働き続けてもらうには、やはり環境、雰囲気を整ってあげれば人は育つと、私は信じています。ですから質の良い(看護)雰囲気職場にはスタッフが定着するはずだと思っています。そして、その責任はリーダーにあると思っています。

ビジョンに向けて、部分

的でも良いので、少しずつ実現させる。皆のモチベーションを高めてもらう。そんな継続教育に気を配り、後押しし、温かく見守って行く……。

気持ちは常にこうなのですが、なかなかどうして大変な毎日です。

昔、長谷川婦長さんにガツンと仕込まれました。あの時代はあれで良かったのだと思ひ、しみじみ有難く思っています。今では、あのガツン法が通じないのが少し残念かな?とも思っています。

実は私は一度はすつぽり家庭に入った離職組の一人なのですが、この職の魅力のおかげで、あと定年まで5年となったこの年まで、働き続けて来られました。残りの時間をこの課題解決に向けて頑張ろうと思っています。

卒業生の皆様が、良きリーダーに恵まれ、良きリーダーに成られますことを祈って居ります。

まずは近況報告です

佐藤 明美 (看19)
(旧姓:伊丹)



同窓生の皆さん、本当にお久しぶりです。昨年6月の19回生の同窓会では、懐かしい面々に会えて25年という時の流れを忘れ、楽しいひと時を過ごせました。その際に運良く?今回の原稿依頼を引き当てたのが私です。という事で、何の面白味もないかもしれませんが、私の近況報告をさせていただきます。

私は卒後いろいろな職場を経験しました。その中で本当に東京医大には縁があり、東医卒の先生2人のもとで働くことが出来ました。そして現在、東医卒の

須藤英仁先生が院長を務める、医療法人済恵会須藤病院で、一般病棟課長として働いています。中間管理職として院長から厳しい指導を受けながら、ファーストレベル研修のレポートに終われる毎日です。

私生活では、夫1人子ども3人で、長男が大学生、長女次女は、今年大学と高校に進学します。目立った反抗期もなく、いまだに家族5人で出かけています。昨年は大洗水族館や上野動物園、つい最近は銀座へ出かけました。幾つの子ども?と思うでしょうね。平凡ですが小さな幸福を感じられる生活を送っています。

最後に、私は仕事で行き詰まった時、看護学校の友人と会うことでリフレッシュでき、次の活力にもなっています。同じ苦労をした仲間には貴重な存在です。同窓会便りも、皆さんの活躍を知ることができ、頑張る

うという気持ちになります。同窓会役員の皆さん、いつもありがとうございます。これからも、よろしくお願ひします。

子育ての日々

河野直美 (看31)
(旧姓:竹内)

ご無沙汰しています。縁あって今回原稿を書かせていただくことになりました。ずっと仕事をしていくつもりでしたが、どういうわけか今は専業主婦で、7歳の娘と4歳の息子の子育てに悪戦苦闘しながら忙しい毎日を過ごしています。

早産の帝王切開で娘が生まれた翌日に父方の祖母が突然亡くなり、息子の誕生の年には母方の祖母、叔母、母が続けて亡くなりました。子供達の成長を喜びながらも命について考えさせられる日々です。

乳幼児虐待のニュースを数多く耳にします。あつてはならないことですが、実

際はほんとに紙一重だなと思います。そうではない方も多いと思いますが、私の場合はほぼ子供中心の生活で、子供に手がかららない時間は山積みになっている。家事の処理。誰にでもできるような事に負われて息つく暇もないと、これまでの自分は何だったのかと落ち込むこともありました。イライラしてつい子供にひどい事を言ってしまうこともあり、自分の未熟さを思い知らされるばかりです。

それでも子供のおかげで初めて知ることや感動もあり、その存在に助けられることも多々あります。

実習や病棟勤務での様々な経験は昨日のこのように感じますが、現場を離れて8年になります。いつかは復帰したいので不安を覚えますが、もうしばらく目の前の子供たちと共にいろいろなことにチャレンジして、自分自身も成長していきたいと思っています。



東京医科大学看護専門学校 同窓会ホームページを更新 しました!!

同窓会副会長(ホームページ開設担当) 守屋 みゆき (看19B)

同窓会の皆様、御存じですか?本校同窓会では平成15年4月から、ホームページを開設しています!!
既に、活用して頂いている同窓生もおられますが、まだ十分に情報が浸透していないという事もあり、この場を借りて再度PRさせて頂く次第です。

現在、多くの方が本ホームページに訪問してくださっています。また、ホームページ掲示板には懐かしい方の書き込みやそこから広がる回生を超えた同窓生のネットワークも広がりつつあります。住所変更登録用のフォーマットの活用も徐々に機能してきており、事務局の業務の効率化にも大変役立っております。

役員会では、今後ホームページの開設が本同窓会や母校の発展と活性化に繋がるように、時代や社会の流れに乗りつつ検討を重ね、ホームページとしての充実を目指したいと思っております。是非、皆様からご助言やご意見をお待ちしております。そして、一人でも多くの方に利用して頂ける暖かい本同窓会らしいホームページに成長していく事を願っております。

今後のホームページの継続運用については、引き続き活用状況と経費等についての見通しをも見据えて慎重に対処していく所存でございます。何卒、同窓生の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

- 住所等の変更は、住所変更フォームでの登録が便利です。事務局も効率的に動けます…
ご本人からはもちろんクラスの幹事の方、是非ご利用ください!!
- 掲示板は、各クラス幹事の方、同窓生個人の方も諸連絡等で大いに活用してください!!

URLは <http://www.touikan.com>

住所変更の連絡先は

〒100-8302 東京都港区赤坂5-1-1 東京医科大学看護専門学校
同窓会事務局 守屋みゆき
TEL: 03-3381-8111 FAX: 03-3381-8183

同窓会寄付金にご協力を!

同窓会の運営費は毎年卒業生時に終身会費として頂く会費によって賄われていますが、年々会員は増大しもうすぐ50回生を迎えようとしています。

会報費、通信費などの運営費用の捻出に困惑しているのが現状です。

会員の皆様方には同窓会運営の窮地をご理解いただき、是非とも寄付金を下記の内容でご協力をいただけるようよろしくお願い申し上げます。

寄付金 一口 1,000円 (一口以上でお願い致します)

払込方法 郵便局備え付けの払込用紙の通信欄に「寄付金として」と明記し、口数、金額を記入してください。

振込口座 東京医科大学看護専門学校 同窓会

口座番号 001300-000-1182000

東京医科大学看護専門学校同窓会 同窓会事務局 中国 函

『同窓会役員の募集』

第21回の幹事会で同窓会役員を全ての同窓生から広く一般公募することに決定。多くの方の立候補をお待ちします。

随時募集中です。

【役員の条件】

- ① 役員会(東京医大病院で年間5~9回開催)に出席できる方
- ② 母校の発展に寄与できる方

【連絡先】

東京医科大学看護専門学校 同窓会事務局 中国 函
TEL: 0031 3342-8111 内線3383



同窓会幹事の係分担計画

〈各係の役割〉

1. 名簿係：同窓生の住所管理

※総会で名簿発刊は中止と決定。

2. 新聞係：毎年1月に同窓会便りを発行するための記事の依頼を担当する。

※新聞係は、係として分担せず、右記の表にあるように「ひろば」の記事を自分の回生に依頼する。

〈同窓会「ひろば」担当について〉

同窓会便りの「ひろば」は会員の皆様の近況などをお寄せいただき、いつも楽しみにしている好評をいただいているコーナーです。

これからもますます充実したコーナーにしていきたいと思っております。

つきましては、お忙しい中、大変恐縮ではありますが、担当になっている年をご確認いただき、担当の幹事の方は、ご自分の同級生に原稿を依頼していただきたいと思っております。ご協力の程、宜しくお願いたします。

ひろば担当

平成23年度		平成24年度	
別3	看17	別1	看22
進1	看18	別5	看26
進4	看25	進2	看29
進8	看27	進6	看31
看4	看28	看2	看33
看6	看34	看5	看35
看10	看41	看12	看38
看16	看42	看15	看39

※担当表について

・「ひろば」は、毎年16人位の方にお願していますので全回生から、16の回生の方に担当していただくことにしました。

・原稿等は幹事会の時に、担当の幹事の方にお渡しします。

平成21年度 会計報告

〈平成21年5月1日～平成22年4月30日〉

〈収入〉

項目	金額
平成20年度繰り越し	¥2,089,163
44回生同窓会終身会費	¥880,000
寄付金	¥5,000
名簿代	¥0
口座預金利息	¥683
合計	¥2,967,846

〈支出〉

項目	予算	支出
本部会費	¥600,000	¥339,255
同窓会便り	¥1,000,000	¥27,130
名簿(HP)	¥100,000	¥113,820
予備費	¥1,184,163	
合計	¥2,884,163	¥480,205

平成22年度 同窓会予算案

〈平成22年5月1日～平成23年4月30日〉

〈収入予算案〉

項目	金額
前期繰り越し	¥2,487,641
同窓会終身会費	¥800,000
口座預金利息	¥500
合計	¥3,288,141

〈支出予算案〉

項目	金額	内容
本部会費	¥600,000	幹事役員会費・卒業記念品代 お花代・運営活動費
同窓会便り	¥1,973,148	印刷料・切手費 郵代・運営活動費
名簿(HP)	¥110,000	名簿管理費 データ更新費・HPコスト
予備費	¥604,993	
合計	¥3,288,141	

